

## [報告事項 2]

## 第56期（2024年度）事業計画

本会が第56期（2024年 3月 1日～2025年 2月28日）に行う事業の実施計画は次のとおりである。

- ① 研究発表および学術講演会の開催（定款第4条1号）
- ・第63回航空空動機・宇宙推進講演会/北部支部2024年講演会ならびに第5回再使用型宇宙輸送系シンポジウムを次のとおり行う。
    - 開催日 2023年3月13日～15日
    - 場 所 かでる2.7（札幌市）
  - ・第55期定時社員総会および年会講演会を次のとおり行う。
    - 開催日 2024年4月18日、19日
    - 場 所 &BIZ conference（東京）
  - ・第56回流体力学講演会/第42回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウムを次のとおり行う。
    - 開催日 2024年7月3日～5日
    - 場 所 鹿児島県民交流センター
  - ・第66回構造強度に関する講演会を次のとおり行う。
    - 開催日 2024年7月31日～8月2日
    - 場 所 サンメッセ鳥栖（佐賀県鳥栖市）
  - ・2024年度「空の日・宇宙の日」記念特別講演会を次のとおり行う。
    - 開催日 2024年9月3日
    - 場 所 航空会館
  - ・国際航空科学会議 ICAS2024
    - 開催日 2024年9月9日～13日
    - 場 所 フィレンツェ（イタリア）
  - ・第20回全日本学生室内飛行ロボットコンテストを次のとおり行う。
    - 開催日 2024年9月21日～23日（予定）
    - 場 所 日本工学院専門学校蒲田キャンパス 片柳アリーナ（予定）
  - ・第62回飛行機シンポジウムを次のとおり行う。
    - 開催日 2024年10月16日～18日
    - 場 所 アオッサ福井（福井市）
  - ・アジア太平洋航空宇宙技術国際シンポジウム2024（APISAT-2024）
    - 開催日 2024年10月28日～30日
    - 場 所 アデレード（オーストラリア）
  - ・第68回宇宙科学技術連合講演会を次のとおり行う。
    - 開催日 2024年11月5日～8日
    - 場 所 アクリエ姫路（姫路市）
  - ・第29回スカイスポーツシンポジウムを次のとおり行う。
    - 開催日 2024年12月（未定）
    - 場 所 未定

さらに、日本航空宇宙学会主催の支部関連の行事を次のとおり行う。

- ・北部支部2024年講演会ならびに
 

第5回再使用型宇宙輸送系シンポジウム	2024. 3. 13～15	（北部支部主催）
--------------------	----------------	----------
- ・西部支部第52期支部総会・特別講演会
 

2024. 3. 19	（西部支部主催）
-------------	----------
- ・中部支部第67期支部大会及び特別講演会
 

2024. 3. 29	（中部支部主催）
-------------	----------
- ・関西支部第70期総会・特別講演会
 

2024. 4. 12	（関西支部主催）
-------------	----------

以上のほか、関連学術団体との共催講演会等を次のとおり行う。

- ・安全工学シンポジウム2024
 

2024. 6. 26～28	（本会共催）
----------------	--------
- ・ATM/CNSに関する国際ワークショップ2024
 

2024. 11. 19、20	（電子航法研究所との共催）
-----------------	---------------
- ・第32回衛星設計コンテスト
 

2024. 11. 23	（日本機械学会他との主催）
--------------	---------------
- ・第67回自動制御連合講演会
 

	（計測自動制御学会他との主催）
--	-----------------

- ② 会誌その他図書の刊行（定款第4条2号）

- ・学会誌「日本航空宇宙学会誌」を次のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数	発行年月日	巻	号	発行部数
2024年3月5日	72	3	3,400部	2024年9月5日	72	9	3,400部

2024年4月5日	72	4	3,400部	2024年10月5日	72	10	3,400部
2024年5月5日	72	5	3,400部	2024年11月5日	72	11	3,400部
2024年6月5日	72	6	3,400部	2024年12月5日	72	12	3,400部
2024年7月5日	72	7	3,400部	2025年1月5日	73	1	3,400部
2024年8月5日	72	8	3,400部	2025年2月5日	73	2	3,400部

- 和文論文集「日本航空宇宙学会論文集」をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）によるオンラインジャーナルとして、次のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行年月日	巻	号
2024年4月5日	72	2	2024年10月5日	72	5
2024年6月5日	72	3	2024年12月5日	72	6
2024年8月5日	72	4	2025年2月5日	73	1

- 国際論文集“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences”をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）によるオンラインジャーナルとして、次のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行年月日	巻	号
2024年3月4日	67	2	2024年9月4日	67	5
2024年5月4日	67	3	2024年11月4日	67	6
2024年7月4日	67	4	2025年1月4日	68	1

- 和文オンラインジャーナル誌「航空宇宙技術」をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）に随時発行する。
- 英文オンラインジャーナル誌“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Aerospace Technology Japan”をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）に随時発行する。
- 航空宇宙工学テキストシリーズを刊行する。

③ 研究および調査（定款第4条3号）

- 航空宇宙ビジョンの維持改定および広報活動を行う。
- 航空宇宙の新分野の研究を行う。

④ 関連学会等との連絡および協力（定款第4条4号）

- 関連学術研究団体の行事に協力し、講演会等の事業を協賛・後援し、連携強化に努める。

⑤ その他目的を達成するために必要な事業（定款第4条5号）

- 第33回（2023年度）日本航空宇宙学会賞を次のとおり表彰する。

論文賞（2件）：「先進グリッド構造の低熱膨張設計手法の開発」

松本 迪斉（三菱電機株式会社），関根 一史（三菱電機株式会社），久米 将実（三菱電機株式会社）

「回転翼の効率向上のための引張-ねじりカップリング特性を用いたねじり角の受動制御」

鈴木 雄士（東京大学），青木 隆平（東京大学）

技術賞〔基礎技術部門〕（2件）

「航空機被雷危険性予測技術」

吉川栄一、神田淳

「滑走路雪氷モニタリングシステム技術」

神田淳、守田克彰、舘山一孝、原田康浩、大前宏和、三宅俊子、佐藤裕司

奨励賞（3件）：宮園晃輝「フラットスピンをを用いた小型固定翼無人機の定点垂直着陸法の基礎研究」

石原一輝「Visualization and Performance Evaluation of a Liquid-Ethanol Cylindrical Rotating Detonation Combustor」

永田貴之「Schlieren Visualization and Motion Analysis of an Isolated and Clustered Particle(s) after Interacting with Planar Shock」

- 第2回航空宇宙技術遺産を次のとおり表彰する。

複合材コキュア一体成形主翼構造

民間超音速機実現のための空気抵抗低減設計技術実証（NEXST-1）

戦後初の国産旅客機YS-11

PS-1 飛行艇のSTOL技術と耐波性技術

準天頂衛星と静止衛星による高精度衛星測位システム

ソーラーセイル航行技術実験機 IKAROS

日本の固体ロケット技術の礎を築いたペンシルロケット

数値風洞

- ・第3回航空宇宙技術遺産の認定を行う。
- ・第34回（2024度）日本航空宇宙学会賞の選考を行う。
- ・第24回（2024度）日本航空宇宙学会学生賞の受賞者を決定し、受賞者表彰を行う。
- ・月刊メールマガジンの会員向け刊行やTwitterでの情報提供など、会員サービスの向上に努める。
- ・DX推進による会員サービスの一層の向上、学会業務の効率化に努める。
- ・ジュニア会員制度の低年齢層化を目指し、学会での中高生などの若手の発表をエンカレッジする。
- ・宇宙戦略基金などのアカデミアへの提供を目指して、産業界や政府関係機関との連携を強化する。併せて、非宇宙関連企業との連携を強化し、宇宙のイネーブラーとしての役割を強化する。
- ・政府に対して学術界のオーソリティとして各種の技術提言やコンサルテーションの役割を担う。
- ・男女共同参画を推進する。
- ・事務局労働環境の整備を引き続き行う。

以上